

大阪市環境白書の刊行にあたって



現在、地球温暖化が世界的に大きな問題となっており、我々の生活の基盤である地球環境を守るためには、二酸化炭素などの温室効果ガスの大幅な排出削減が必要となっています。また、昨年10月、名古屋市において、「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催され、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた様々な取組みについて合意がなされ、我々の暮らしに様々な恵みをもたらす生物多様性への対応も重要な課題となっています。

環境施策を取り巻くこのような状況を踏まえたうえで、地域が持つポテンシャルを活かした今後の環境施策の方向性を示す必要があるという認識から、大阪市では、平成22年度に「おおさか環境ビジョン」を策定するとともに、ビジョンを反映した新たな「大阪市環境基本計画」を策定しました。

今後、新たな環境基本計画のもと、「低炭素社会の構築」、「循環型社会の形成」、「快適な都市環境の確保」を環境政策の柱として、地球温暖化対策等の推進と環境・エネルギー産業の振興を図り、環境と経済の好循環のもと地球環境問題の解決に貢献する大都市をめざしてまいります。また、高度に市街化された大阪市にふさわしい「生物多様性地域戦略」を、平成23年度中に策定してまいります。

さらに、東日本大震災を機にエネルギー政策のあり方が問われる中、エネルギー・セキュリティの観点も踏まえ、次世代エネルギーの開発促進に関する施策を推進いたします。

本書は、平成22年度における大阪市の環境の状況や施策の実施状況を取りまとめたものであり、今後さらに改善していくべき課題や今年度の重点的な取組み内容も示しています。今後とも、市民や事業者、環境NPO・NGOの皆様の力をお借りして、環境にやさしいまちづくりを進めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 平松 邦夫